



第3回 避難訓練

12月8日(月)の夜11時過ぎに青森県東方沖を震源とする地震が発生し、八戸市では震度6強を記録しています。停電も起き、避難指示も出ました。その後も揺れが続いている。「後発地震注意情報」も発表され、地震への備えが続いている。被害にあわれた皆様や、寒い中避難生活を余儀なくされている方々に、心よりお見舞い申し上げます。

—略—

私たちの地域でも、「南海トラフ地震」が起きたときもおかしくないと言われています。地震発生に備え、12月12日(金)に避難訓練を行いました。今回の訓練では、本震後の余震まで気を緩めず、迅速で冷静に避難できることを目的としました。学級で災害の様子をVRで体験できる動画を視聴し、グループで感じたことや考えたことを共有しました。その後、一次避難をし、体育館へ避難の途中に余震が起きた場合を想定して訓練をしました。静かに迅速に体育館へ避難ができただけではなく、改めて校内にはどんな危険箇所があるのか、考えることができました。ご家庭でも、地震が起きた場合を想定し、避難所の確認や備蓄品などの準備をお子さんと一緒に進めてください。

—略—

【振り返りの紹介】

- 今までの避難訓練のときは、避難途中に余震が来るなんて考えてもみなかったので、改めて余震のときに落ちてきそうなものとか危ないかもしれないものを話したりして考えられてよかったです。(3年生)

☆余震のことまで考えて、避難することの大切さを感じることができました。

- 避難するときに周囲を確認して、倒れたり割れて飛んできたりするものを意識しながら逃げることができた。動画を見たときに、とても強い揺れだなと思ったけれど、校長先生のお話でそのような揺れは余震も多いと知り、とても驚いたと同時に、警戒すべきものは、本震だけではないと再確認させられた。通学路やふだんの生活の中で注意すべきところを確認するようにしたい。(3年生)

☆今回の訓練から、通学中にどんな注意を払うべきかまで確認したいと思きましたね。

- 校長先生の東日本大震災の余震回数を聞いてとてもびっくりした。だから今青森にいる人たちはとてもつらいんだなと想像した。毎日もし地震がきたら……とまでは考えていなかったけど、いつどこにいても自分や友達を守れるようになりたいと思った。帰り道、どこが気をつけるポイントでどうすればよいのか友達と一緒に考えたいです。(1年生)

☆ぜひ通学路にも想像力を働かせて、どんな災害が予想されるか話し合ってください。

- 避難をしているときの廊下での姿勢について、新しい学びがありました。頭をまもることはできただけれど、地面についている足はつま先になってしましました。もし本当の地震だったら、転んでしまうなと思いました。なので、足は正座のような形にすればいいと気づきました。一略—(2年生)

☆どうしたら安全に体勢を維持できるかまで考えて訓練することができました。